



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ) ④

社宅は3LDKに3人が入居していた。フスマ1枚隔て新人の九州出18歳の2人と途中入社自分だ。気がついたら独身寮の10~20代の男達が毎晩のように何十人も集うサロンのような場所になった。但し衛生環境は最悪。週末は入れ替わり立ち替わり鍋を囲みもう騒々しいつたらない。近隣や家族寮からの苦情でパトカーまで来た。そこへパジャマ姿の総務課長が「何しとるか！」と鬼の形相で現れる。若い連中は素早く押入れに逃げるも住居人の私は逃げることもできず大目玉を喰らう羽目に。週明け月曜。朝礼台に立たされ平謝り。こうした楽屋裏の騒ぎをよそにアメリカのシアトルから米国で屈指の規模の航空貨物会社Aエクスプレスの副社長達が颯爽とやってきた。応接間に案内し、型通りの挨拶を終えテーブルに出す珈琲カップを数えていたら、社長が「冷蔵庫にあるものを持ってこい」と言う。冷蔵庫にはパックに入った数本のヤクルトがあった。



創業点描



大磯車庫(マクドナルド前) 左側;3トンショート青色幌ウイング(いすゞ) 右側;3トンウイング(三菱)



誕生日おめでとう。

二十四節気

18日 F・S
29日 T・S



8日 寒露(かんろ)
秋深まり、露が草木に宿る頃

23日 霜降
霜が降りてくる頃

日の出 5:50
日没 17:07

今月のひとこと

生きていることがメッセージなんだよ。
アントニオ猪木

SPACE
EXPRESS
Co.,Ltd.

株式会社スペースエクスプレス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 1-9-45
TEL: 0463-21-5522 FAX: 0463-21-5529
<http://www.spaceexpress.co.jp>



代表取締役 河面 直